

## 日本音楽知覚認知学会平成18年度第1回理事会資料

日時：平成18年5月20日（土）10:30～12:30

開催場所：金城学院大学

出席予定者：岩宮 眞一郎，大浦 容子，山田 真司，桑野 園子，安達 真由美，上田 和夫，大串 健吾，小川 容子，佐藤 正之，菅 千索，谷口 高士，津崎 実，難波 精一郎，平賀 譲，古矢 千雪，星野 悦子，村尾 忠廣，森下 修次

### 予定議題

#### 1. 会員状況報告

会員状況報告について報告を行った。

会員総数 336 名（平成 17 年 3 月 31 日現在）昨年同時期に比べ増減なし

会員内訳：名誉会員 1 名、会友 2 名、顧問 1 名、正会員 286 名、学生会員 47 名

#### 2. 平成17年度事業報告

平成17年度事業報告を行った。

##### (1)春季研究発表会開催

平成17年5月21日（土），22日（日）：日本大学芸術学部（江古田校舎）

研究発表：18件，湯浅譲二先生講演会

##### (2)秋季研究発表会開催（「音楽と感情」研究会総括発表会を同時開催）

平成17年10月15日（土），16日（日）：京都女子大学

研究発表：11件，音楽と感情シンポジウム

##### (3)「音楽と感情」研究会

下記の4回、京都女子大にて「音楽と感情」研究会を開催した。

平成17年5月1日（第15回），6月19日（第16回），7月30日（第17回），  
9月18日（第18回）

##### (4)学会賞授与

###### 研究選奨

平成17年度音楽知覚認知学会春季研究発表会

鈴木碧（金沢工業大学情報フロンティア学部メディア情報学科）

平成17年度音楽知覚認知学会秋季研究発表会

該当者なし

###### 論文賞

該当者なし

#### 3. 平成17年度決算報告

資料に基づき，平成16年度の決算案の報告を行った。

#### 4. 平成17年度監査報告

監査結果を報告し，承認した。

#### 5. 平成18年度事業計画

##### (1)研究発表会

- ・春季研究発表会 金城学院大学（世話役：村尾先生） 平成18年5月20日，21日

研究発表 13 件、シンポジウム企画「音楽と運動（映像）ビートのタイムラグ」を計画している。

- ・ 秋季研究発表会 金沢工業大学（世話役：山田先生） 平成 18 年 11 月 11 日、12 日  
日本音響学会音楽音響研究会との共催、チュートリアル、特別講演会の企画案がある。

（18 年度事業計画ではないが）19 年度の研究発表会の開催についても検討を行った。

19 年度春季研究発表会：長崎市の長崎県美術館会場としての開催（世話役：中田先生）を計画しており、会場費に 5 万円～9 万円程度かかることの是非について議論を行い、これを了承した。

19 年度秋季研究発表会：上野学園大学での開催（世話役：星野先生）を計画中である。

## (2)学会誌発行

音楽知覚認知研究 Vol.11-No.1, No.2

「音のデザイン」特集号は、Vol.11-No.1, No.2 に分割して実施（当初は No.2 の予定）

音楽知覚認知研究 Vol.12-No.1, No.2

## 6. 音楽文献目録委員会

昨年度に引き続き、音楽文献目録委員会より、一口 2 万円の助成依頼があり、これに応じることとした。

## 7. 平成 18 年度予算案

予算案を原案どおり承認した。

## 8. 日本音楽知覚認知学会研究選奨選考の件

春季研究発表会に関しては、委員が任命された審査にあたる旨の報告があった。

## 9. 会費未納者の扱いについて

資料に基づき、3 年以上の未納者について、さらに督促を行い、それでも未納の場合には除籍することを確認した。

## 10. プール金（ICMPC1 からの）の扱いについて

大串理事より、ICMPC 1（1989 年）開催時の余剰金に関して、現在の状況に関して説明があった。この余剰金に関しては、今後、日本音楽知覚認知学会国際活動基金（仮称）として学会として管理することとした。当面、会長が管理する。

## 11. ICMPC10 について

安達理事より、現在の状況について説明があった。

## 12. 学会の将来について（次期会長、学会運営方法等）

自由討論の形で、各種担当ごとの常任理事設置、会長選挙、理事選挙の方法等にかんして意見交換した。引き続き、ワーキンググループで検討を行い、次回理事会までに意見を集約することとした。